

令和 8 年

雲南市議会 3 月定例会 会派代表質問通告一覧表

【会派代表質問日程 令和 8 年 3 月 4 日】

令和8年雲南市議会3月定例会 会派代表質問通告一覧表 目次

順番	日程	会派名	質問者	質問方式	ページ
			議席番号 / 氏名		
1	3月4日(水) 午前9時30分～	政友クラブ	11 / 安田 栄太	一括	1～4

令和8年雲南市議会3月定例会 会派代表質問通告一覧表

令和8年2月20日

質問 順位	会 派 名 質 問 者 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1	政友クラブ (一 括)	1. 行財政運営について 2. 産業振興について	<p>(1) えすこな雲南市を実現するための新年度当初予算に込めた思いと目玉となる事業を伺う。</p> <p>(2) 財政健全化に向けた重要な取り組みの一つである公共施設等総合管理計画が改訂される予定である。</p> <p>①国からの指針を踏まえた改訂とは思いますが、財政に配慮した点は何か。</p> <p>②施設の保有量と配置の適正化を進めるにあたり、基本的な考え方を伺う。</p> <p>③施設の長寿命化を図ることで生涯コストの縮減に繋がると思うが、公営住宅、橋梁、公園等の長寿命化計画はあるが、その他の公共施設の長寿命化計画は策定しないのか。</p> <p>高市内閣が強い経済をつくるため、責任ある積極財政の名のもと、地域未来戦略による投資、中小企業の稼ぐ力の強化、一次産業の構造転換や森林資源の循環利用を進めるとされた。これを踏まえた本市の産業振興について質す。</p> <p>(1) 農林畜産業について</p> <p>①昨今の米不足や価格高騰により生産者を取り巻く環境が変化している。社会経済情勢の変化を踏まえて、農業ビジョンの各施策は見直しや軌道修正は行っているか。</p> <p>②AI や IoT 等の先端技術の活用が全国的に取り組まれているが、本市の省力化技術の導入の状況は。</p> <p>③担い手に対する酷暑対策が必要との声があるが、支援策等の考えはあるか。</p> <p>④来年開催される全国和牛能力共進会北海道大会に向けての対策はあるか。</p>	

質問 順位	会 派 名 質 問 者 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		3. 自衛隊施設誘致 について	<p>⑤前回大会で肉牛の部1位を獲得したが、その結果を畜産振興にどのように繋げ発展させたか。</p> <p>⑥林業振興ビジョンで示されている川上まで効果がある流通プラットフォームの構築は出来たか。</p> <p>(2) 商工観光について</p> <p>①中小企業、小規模事業者が直面するコスト増、人手不足、後継者不足の課題について伺う。</p> <p>(ア)物価高による原材料費、エネルギー費の高騰に加え、人件費の増によるコスト増が続いている状況で、しっかりとした利益確保を目指す事業者に対する支援を今後どのように進めていくのか。</p> <p>(イ)人手不足の状況の中、人材確保に苦慮する事業者に対して就業環境支援を行ってきたが、その成果と次の一手はあるか。</p> <p>(ウ)後継者不足も慢性的な課題である。これまでの事業承継の支援について、成果と今後の対策は。</p> <p>②中心市街地にホテルがオープンして5か月が経つ。本市の経済効果はどのように変化したか。</p> <p>③宿泊・観光消費喚起物価高騰支援事業が好調だが、一部の宿泊施設への利用に偏りがあると感じる。改善すべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>④国内ではインバウンドが好調で、オーバーツーリズムが問題となっているが、本市におけるインバウンド効果はどうか。</p> <p>昨年末、吉田町内で自衛隊の弾薬庫と訓練場の誘致に向けた活動をする団体があると新聞で報じられた。国が防衛力強化を目指す中、施設誘致で地域振興</p>	

質問 順位	会 派 名 質 問 者 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		4. スポーツ振興と 産業人材確保につ いて	<p>を図る目的があるとされている。市長は活動があることは承知している。議論の動向を冷静に見ていきたいとコメントされた。</p> <p>(1) この団体と本市との関係はどのようなものか。</p> <p>(2) 市は、このことについて情報収集は行っているのか。</p> <p>(3) 仮に誘致した場合、どの程度の経済効果が見込めるのか。</p> <p>(4) 市民の間で推進、反対の双方の意見があり、誤情報等により混乱や分断を招きかねない。市の立ち位置を整理して、市民に示す必要があると考えるが、見解を伺う。</p> <p>人口減少、若者の流出等による本市の衰退は歯止めがかからない状況にある。担い手不足による地場産業の衰退は経済への悪循環を生むことになり、本市の衰退は加速してしまう。そんな中、シトリンしまねが活動拠点を本市に移し、10 数名の若者が本市に移住してきた。このことは本市にとって極めて明るい話題である。スポーツ振興を通じて若い人材を確保することは有効であり、全国には地域おこし協力隊制度等を活用して選手を集めた成功事例もある。</p> <p>(1) 本市における移住政策は全ての層をターゲットにしており一定の成果はあるが、これに加えて確実な成果を目指して本市で盛んな野球をターゲットにして選手を集める特色ある移住制度を打ち出し、移住戦略の幅を広げ、併せて地場産業における人材不足を一体で解決する総合モデルを検討してはどうか。</p> <p>(2) 社会人野球を続けながら働きたい若者を本市に呼び込み、地元企業で雇用したいと言う事業者の声が寄せられている。地域おこし協力隊制度や特定地域づくり事業協同組合制度と言った本市のような過疎化が進む中山間地域のた</p>	

質問 順位	会 派 名 質 問 者 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			めの制度を活用すれば、実現可能な取り組みと考えるが、前向きに取り組む考えはないか。	